

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 190

所管部局	市民部	所管課	市民課	担当者名	今西 良匡
事業名	地域センター管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	園部文化センター管理運営費			政策体系	411
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 1. 社会 - 2. 地域		

1. 事業の概要

地域交流・活動の拠点である文化センターの維持管理を実施。あわせて、市民のニーズを的確に判断し、地域文化の継承や交流を深めるため、講座の開設及び文化祭を実施。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上を図り、生活上の課題やさまざまな人権課題の解決に資するために講座の開設、就労相談等さまざまな相談事業や生活改善事業を実施。

② 事業を実施する必要性

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上と人権問題の早期解決のために必要。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	1,199	1,293	1,227	2,776	2,059	1,552	1,552
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,199	1,293	1,227	2,776	2,059	1,552	1,552
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.20	0.13			
人件費		千円	—	—	1,171	1,092			
事業費総額		千円	—	—	2,398	3,868			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

施設維持管理費 （熱水費・修繕料等）	2,325,524円	（3センター1館の光熱水費・修繕料等）
施設運営委託料	450,000円	（150千円×3センター）

5. 事業結果の概要

各施設の維持管理	仁江・埴生・半田・小山西町の各施設の維持管理及び修繕
各施設の地元管理	3センターの開館・閉館及び清掃業務委託

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 仁江文化センター		
センターの維持管理 光熱水費の支出及び修繕	通年	
センターの開館・閉館及び清掃業務委託	通年	センターを地元のセンター運営委員会に委託することにより、センターに対する地域住民の意識の高揚及び、経費の節減につながった。 年間清掃回数 12回 延べ63人 年間利用回数 99回 延べ922人
(2) 埴生文化センター		
センターの維持管理 光熱水費の支出及び修繕	通年	
センターの開館・閉館及び清掃業務委託	通年	センターを地元のセンター運営委員会に委託することにより、センターに対する地域住民の意識の高揚及び、経費の節減につながった。 年間清掃回数 12回 延べ199人 年間利用回数 103回 延べ900人
(3) 半田文化センター		
センターの維持管理 光熱水費の支出及び修繕	通年	
センターの開館・閉館及び清掃業務委託	通年	センターを地元のセンター運営委員会に委託することにより、センターに対する地域住民の意識の高揚及び、経費の節減につながった。 年間清掃回数 12回 延べ70人 年間利用回数 80回 延べ862人
(4) 小山西町老人会館		
会館の維持管理 光熱水費の支出	通年	

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

人権問題解決の拠点また、有効利用等館長会議を中心に議論し今年度設置された文化センター運営審議会の審議内容により今後の展開を図る。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
センターの有効利用について会議を行った。
- ②当該事業のアピール事項
人権問題解決の拠点施設としての有効利用を進めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
今後のセンターの利用促進、広域的な事業展開が必要である。